

【大学院（博士） 博士】

## 総合研究指導(博士1年次)

担当教員 博士後期課程担当教員 大学院博士後期教員

配当年次 1年

単位区分 必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

博士後期課程担当の教員と学生の全員が参加する「作品講評会」と「研究論文発表会」を通じて、制作と理論を関連づけ、個々の分野にとらわれない総合的な視野を獲得することを目指す。

### 【授業の展開計画】

年に3回、教員と学生全員が参加する、作品を前にしての講評会と研究発表を聞いての討論を行う。フリートークに近い討論から多様な刺激を受けられるように運営している。

- 1) 作品・論文について、多彩な専門領域の教員による異なる視点からのコメントをもとに学生も加わって討論をする。
- 2) 他分野の教員・学生との議論のなかで相互の理解を深め、それぞれの分野に閉じこもることのない幅広い視野の獲得を目指す。
- 3) 自己の作品・論文を客観化する契機を与え、また多様な刺激を与えて勉学意欲の向上を促す。
- 4) 発展的な議論と批評の方法を、生きた場で修得してゆく。

### 【履修上の注意事項】

総合研究指導（博士2年次）及び総合研究指導（博士3年次）にも参加すること。

### 【評価方法】

「作品講評会」「研究論文発表会」への参画度合や作品・論文内容などを総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。

【大学院（博士） 博士】

## 総合研究指導(博士2年次)

担当教員 博士後期課程担当教員 大学院博士後期教員

配当年次 2年

単位区分 必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

博士後期課程担当の教員と学生の全員が参加する「作品講評会」と「研究論文発表会」を通じて、制作と理論を関連づけ、個々の分野にとらわれない総合的な視野を獲得することを目指す。

### 【授業の展開計画】

年に3回、教員と学生全員が参加する、作品を前にしての講評会と研究発表を聞いての討論を行う。フリートークに近い討論から多様な刺激を受けられるように運営している。

- 1) 作品・論文について、多彩な専門領域の教員による異なる視点からのコメントをもとに学生も加わって討論をする。
- 2) 他分野の教員・学生との議論のなかで相互の理解を深め、それぞれの分野に閉じこもることのない幅広い視野の獲得を目指す。
- 3) 自己の作品・論文を客観化する契機を与え、また多様な刺激を与えて勉学意欲の向上を促す。
- 4) 発展的な議論と批評の方法を、生きた場で修得してゆく。

### 【履修上の注意事項】

総合研究指導（博士1年次）及び総合研究指導（博士3年次）にも参加すること。

### 【評価方法】

「作品講評会」「研究論文発表会」への参画度合や作品・論文内容などを総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。

【大学院（博士） 博士】

## 総合研究指導(博士3年次)

担当教員 博士後期課程担当教員 大学院博士後期教員

配当年次 3年

単位区分 必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 2.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

博士後期課程担当の教員と学生の全員が参加する「作品講評会」と「研究論文発表会」を通じて、制作と理論を関連づけ、個々の分野にとらわれない総合的な視野を獲得することを目指す。

### 【授業の展開計画】

年に2回、教員と学生全員が参加する、作品を前にしての講評会と研究発表を聞いての討論を行う。フリートークに近い討論から多様な刺激を受けられるように運営している。

- 1) 作品・論文について、多彩な専門領域の教員による異なる視点からのコメントをもとに学生も加わって討論をする。
- 2) 他分野の教員・学生との議論のなかで相互の理解を深め、それぞれの分野に閉じこもることのない幅広い視野の獲得を目指す。
- 3) 自己の作品・論文を客観化する契機を与え、また多様な刺激を与えて勉学意欲の向上を促す。
- 4) 発展的な議論と批評の方法を、生きた場で修得してゆく。

### 【履修上の注意事項】

総合研究指導（博士1年次）及び総合研究指導（博士2年次）にも参加すること。

### 【評価方法】

「作品講評会」「研究論文発表会」への参画度合や作品・論文内容などを総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。

【大学院（博士） 博士】

## 美術創作研究

担当教員 各研究領域担当教員

配当年次 1年

単位区分 選択必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 4.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

博士後期課程の学生にふさわしい、コンセプトと制作とが有機的かつ豊饒に結びついた独自の作品の構築を実現するにはいかにすべきか、そのさまざまな方法について考察する。

### 【授業の展開計画】

博士後期課程の学生は、美術創作について指導教員と相談のうえ、課題を定め研究を行なう。

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

取組姿勢、研究深度など総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。

【大学院（博士） 博士】

## 美術創作研究

担当教員 各研究領域担当教員

配当年次 2年

単位区分 選択必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 4.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

「美術創作研究」で得た成果に基づき、芸術博士にふさわしい質と量をともなった作品の制作をめざす。

### 【授業の展開計画】

博士後期課程の学生は、美術創作研究 で進めてきた研究課題についてさらに探究する。

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

取組姿勢、研究深度など総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。

【大学院（博士） 博士】

## 美術理論研究

担当教員 論文指導担当教員

配当年次 1年

単位区分 選択必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 4.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

博士後期課程の学生であれば当然わきまえていなければならない美学・美術史・美術批評の、高度な知識ないし思考を、原則として個人指導のかたちで習得させる。

### 【授業の展開計画】

博士後期課程の学生は、美術理論について指導教員と相談のうえ、課題を定め研究を行なう。

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

取組姿勢、研究深度など総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。

【大学院（博士） 博士】

## 美術理論研究

担当教員 論文指導担当教員

配当年次 2年

単位区分 選択必修

開講時期 通年

授業形態 演習

単位数 4.0

準備事項

備考

### 【授業のねらい】

「美術理論研究」で得た成果を踏まえつつ、日々の制作ないし学習をとおして得た実感、感想、疑問を独自の思考として展開し、博士論文の母胎となるべき説得力と創意にとんだ体系を構築する。

### 【授業の展開計画】

博士後期課程の学生は、美術理論研究 で進めてきた研究課題についてさらに探究する。

### 【履修上の注意事項】

### 【評価方法】

取組姿勢、研究深度など総合的に判断する。

### 【テキスト】

個々の学生の研究内容により指示する。

### 【参考文献】

個々の学生の研究内容により指示する。